

イチゴ 品質・規格統一

J A伊勢部会 管理の注意点確認

【伊勢】J A伊勢いちご部会は8日、玉城町のJ A集出荷場で目ざろえ会を開いた。今後の気温上昇に伴う栽培管理の注意点を確認するとともに、品質・規格の統一を図ることが目的。

伊勢・玉城地区を中

心とした部会員48人が

高温期に当たつての裁

培管理の注意点、J A

報告を受けた。

全農みえ担当者や市場

同部会の西村彰部会

担当者からは市場情勢

や他産地情勢について

長は「高温期の栽培管理について情報を部会全体で共有し、今年も高品質なイチゴを出荷したい。品質・収量の安定と信頼されるイチ

ゴ作りを行い、産地ブランドの強化にも取り組んでいきたい」と意気込みを話した。

同部会では部会員84人が約13畝の面積で「かおり野」や「章姫」「レッドパール」などを栽培している。

また、新品種「うた乃」の試験栽培も始めており、今後、ブランドینگを進めていく。



出荷規格や詰め方を確認する部会員ら